

鳴子ダム水源地域ビジョン

資料集

平成 18年 3月

鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会

C O N T E N T S

1	水源地域及び鳴子ダムの概要	1
	1．江合川・水源地域の概要	1
	2．鳴子ダムの概要	1
	3．鳴子町の概要	1
	4．鳴子町の近年のトピック	19
	5．鳴子町内での地域活動	24
2	上位関連計画の整理	28
	1．21世紀のグランドデザイン	28
	2．観光立国戦略	30
	3．宮城県及び県際・県内の諸計画	32
3	鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会の経過	39
	1．第1回～第3回策定委員会の意見のとりまとめ	40
	2．策定委員会の意見のとりまとめとコンセプトメイキング	43
	3．策定委員会の議事録	44
	4．専門検討会の議事録	55
	5．策定委員会名簿	61
	6．専門検討会名簿	62

1 水源地域及び鳴子ダムの概要

1 . 江合川・水源地域の概要

江合川はダム湖から上流を通称「荒雄川」と呼び、その源を荒雄岳（標高 984m）に発し、宮城県の穀倉地帯である大崎平野を貫流して旧北上川に合流している。

水源地域（鳴子町）は、新緑から夏は高原の涼、秋は鳴子峡の紅葉、冬季のスキー、温泉等をはじめ、年間を通じて楽しめる観光地となっている。

2 . 鳴子ダムの概要

（ 1 ） 鳴子ダム建設の経緯

江合川は、大正 6 年から改修工事に着手したが、昭和 22 年、23 年の相次ぐ台風の襲来により、江合川沿いでは大きな被害を受けたため、昭和 26 年に鳴子ダムの計画調査は、宮城県から建設省に引き継がれ、治水計画も大幅に見直されることになった。

ダムの建設は昭和 27 年に着工され、5 年の歳月を経て昭和 32 年 10 月国内で初めての日本人のみの手で造られたアーチ式コンクリートダムとして完成した。

（ 2 ） 鳴子ダムの概要

1) 鳴子ダムの効果

鳴子ダムは、ダム管理に入ってから 48 年経ち、治水・利水面等で多大な効果を発揮し、地域の安全を確保する上で欠かせない施設となっている。

2) 鳴子ダムの機能

鳴子ダムは、「治水」「かんがい」「発電」のほか、周辺の自然環境に調和したダムとして機能を維持している。鳴子ダムの主な機能は以下のとおりである。

江合川の想定氾濫区域内人口約 120,000 人の生命等の安全の確保
大崎平野約 10,000 ヘクタールのかんがい用水の供給
水力発電（年間発生電力量 86,255,000KWH）への水供給

鳴子ダムの建設から今日まで

年 号		主 な 内 容
1941	昭和 16 年	宮城県土木部が鳴子ダムの計画を立てる
1947	22	宮城県土木部による予備調査が始まる。カスリン台風により江合川沿いの町は大被害をうける
1948	23	アイオン台風により、大被害が出る
1949	24	キティ台風でまたもや災害
1950	25	大豪雨で大災害
1951	26	鳴子ダムの調査を建設省が引き継ぎ、実施計画調査が始まる。鳴子地区の地形や地質などの調査をはじめ、いろいろな試験や準備を行う。
1952	27	用地買収を行う。鳴子ダム建設工事スタート。(洪水調節、かんがい、発電の多目的ダムで、しかも、日本人だけによる日本初のアーチダム工事として注目される。)
1953	28	ダム工事用の道路をつくる。ダム本体建設工事・仮設備をつくる
1954	29	基礎掘削が行われる
1955	30	堤体コンクリート打設
1957	32	鳴子ダム完成。4月5日試験湛水を実施
1979	54	ダム周辺環境整備事業に着手した
1980	55	貯水池保全事業として貯砂ダム工事に着手した
1985	60	貯水池保全事業貯砂ダム工事が完了した
1991	平成 3 年	ダム周辺環境整備事業が完了した
1996	8	ダム施設改良事業に着手した
2000	12	堤内昇降設備を新設した
2002	14	ダム施設改良事業が完成した
2003	15	取水設備(板見堰)の更新工事に着手した

3. 鳴子町の概要

(1) 鳴子(なるこ)町の歴史など

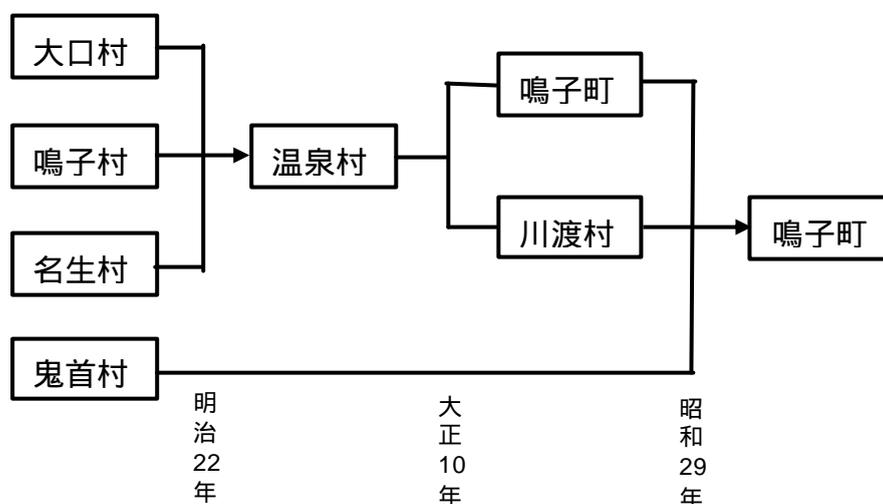
1) 鳴子町の経緯

明治 22 年(1889 年)に「鳴子」「大口」「名生定」の三つの村が合併して「温泉村」となる。

大正 10 年(1921 年)、温泉村が鳴子町と川渡村に分離した。

昭和 29 年(1954 年)、「温泉村」成立から 65 年後、鳴子町(旧)、川渡村、鬼首村が合併し、現在の鳴子町となる。

平成 18 年(2006 年)3 月、古川市など 1 市 6 町と合併し「大崎市」となる予定。合併後は、現鳴子町は「大崎市鳴子温泉」となる。



栗駒国定公園の広大な森に湧く温泉により、千年もの昔から湯治場として栄えた。

鳴子、東鳴子、川渡、中山平、鬼首からなる温泉郷は多彩な泉質と豊かな効能により全国的に有名。

鳴子町の町花はリンドウ、町木はミズキ、町鳥はヤマドリ、町獣はカモシカとなっており、ミズキは「こけし」の原木として利用される。

2) 鳴子(なるこ)の由来

承和 4 (837) 年の火山噴火の際、熱湯が噴出し、火山の震動する音に基づいて「鳴声(なるごえ)」と呼んだのが鳴子となった。

源義経の北の方が出産、弁慶がこれを笈(おい)に入れて東に向かったこの地で初めて泣いたので「啼児(なきご)」といい、それが鳴子になった。

3) 鬼首(おにこうべ)の由来

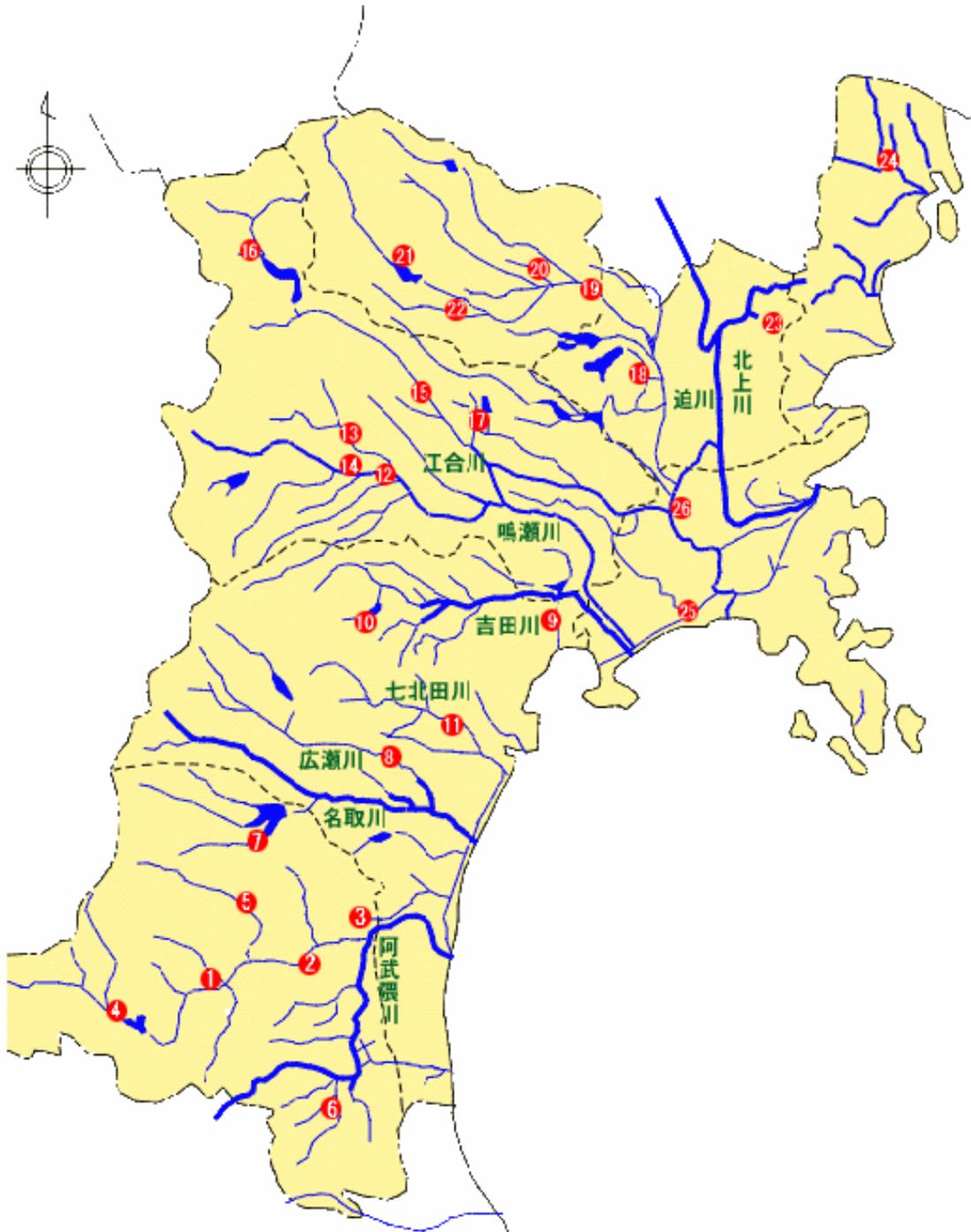
坂上田村麻呂が蝦夷討伐の際、蝦夷首領大武丸を斬ったとき、その首がこの地に落ちたので鬼首と呼んだ。

鬼首は本来鬼切部(おにきりべ：当地域の古戦場)と呼ばれていたことから、そのものが訛って「おにこうべ」となった。

4) 江合川(えあいがわ)の由来

江合川は、昔、玉造川(たまつくりがわ)と呼ばれていたこともあるが、玉造川や荒雄川という名前についての言い伝えはないようである。

江合川は北上川と合流するようになったことから、北上川という大きな川(=「江」)に「合」流する川なので、江合川という名前がついた。



(2) 鳴子町及び江合川流域の人口

1) 鳴子町の人口

鳴子町では、昭和60年(11,459人)から平成12年(9,145人)の15年間で人口が約2,300人減少。

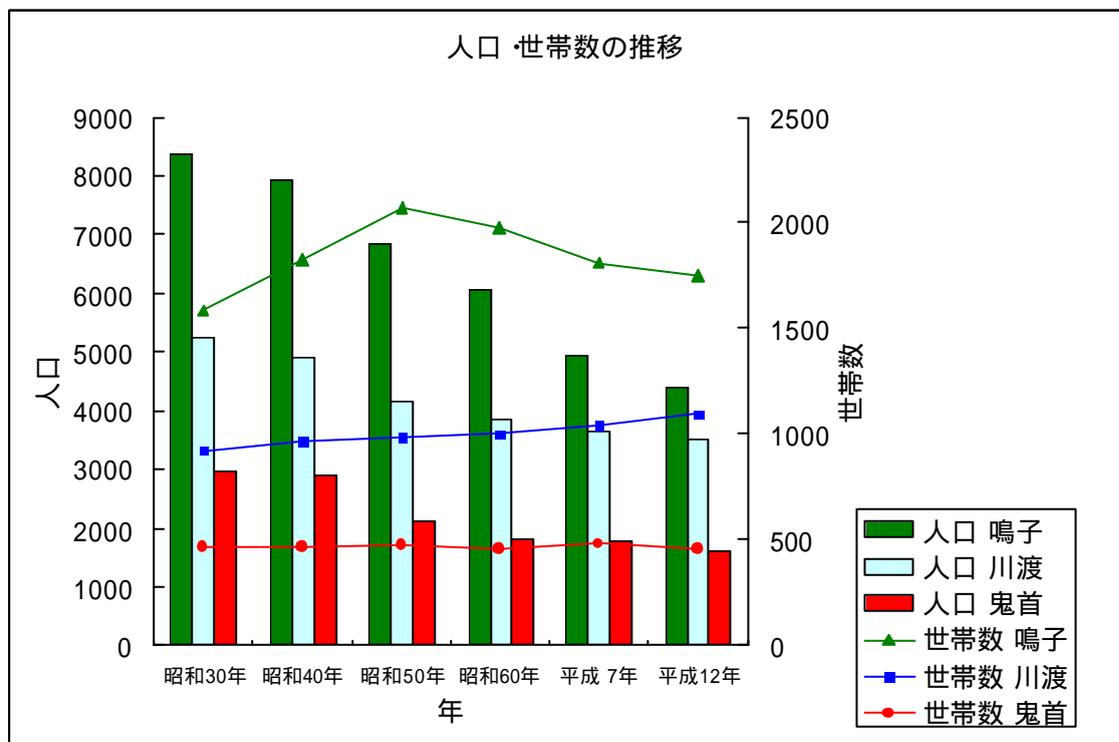
その減少率は約20%と、広域大崎圏の中で最も高い減少率を示している。

鳴子町を3区分(鳴子地区、鬼首地区川渡地区)した中で比較すれば、水源地である鬼首地区の減少率が高く、過疎の進行が急速に進展している。

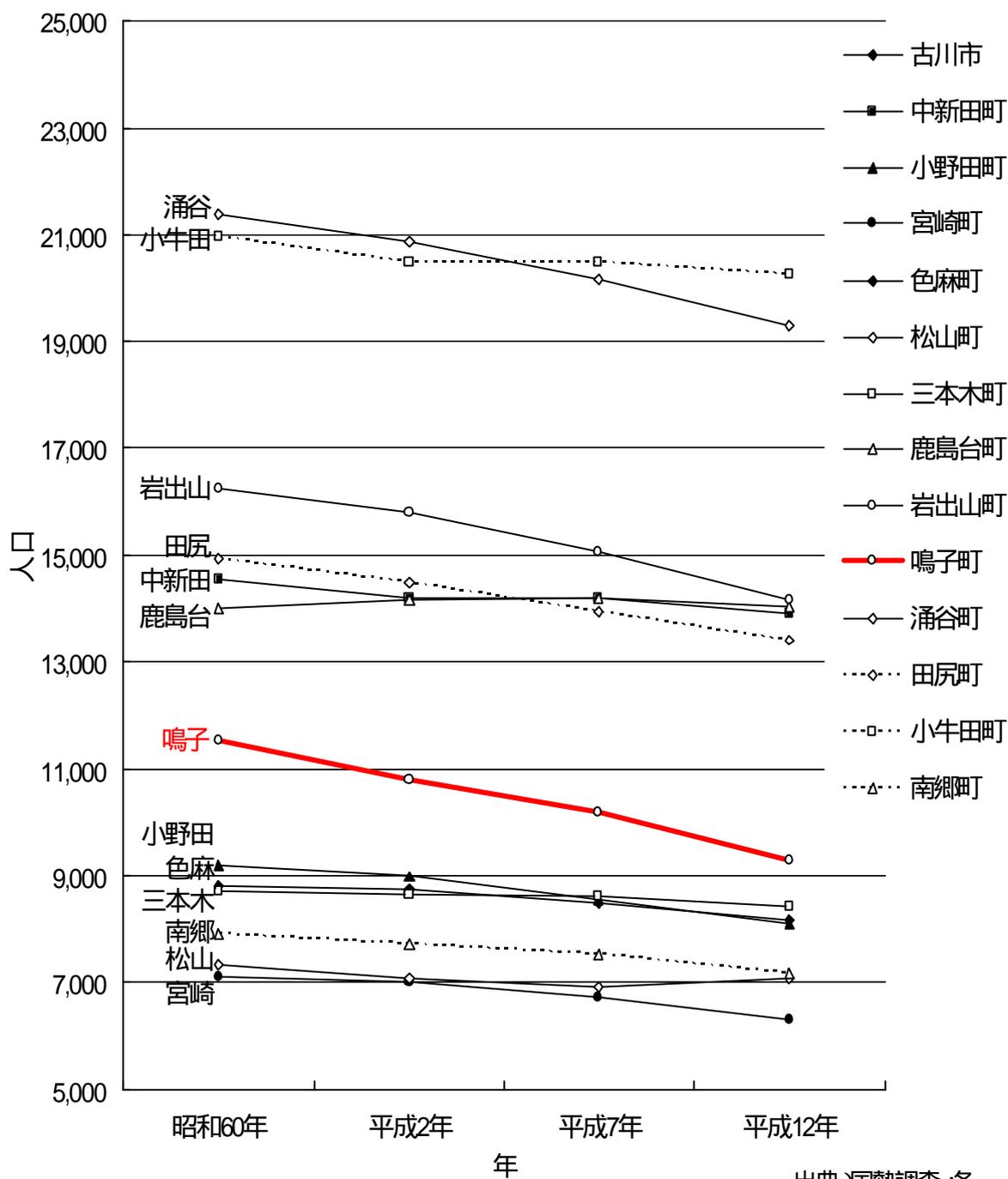
2) 江合川流域地域(広域大崎圏)の人口

古川市では人口が増加しているが、他町では減少傾向にある。

世帯数は旧宮崎町・小野田町、鳴子町以外は増加。

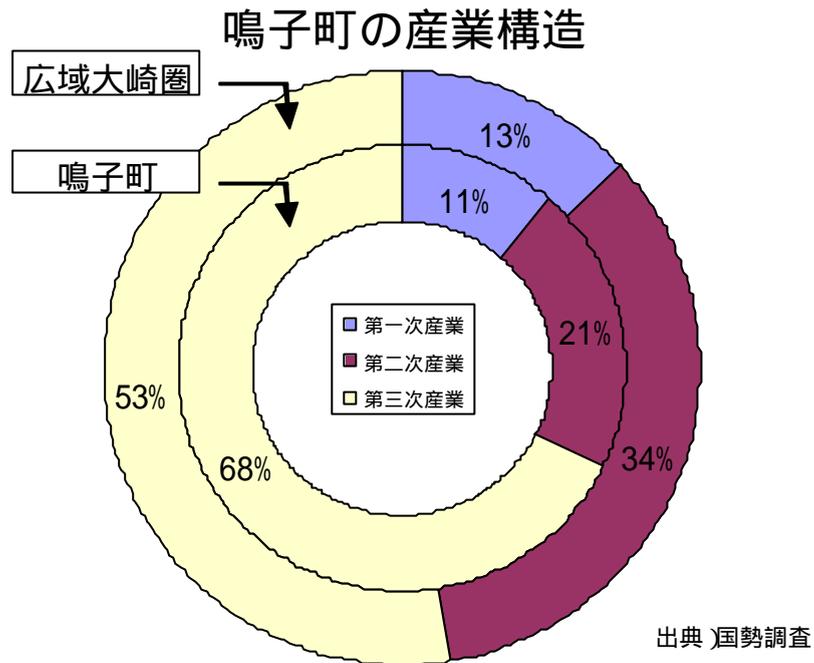


人口の推移 (宮城県大崎地方)



(3) 鳴子町の産業構造

- ・鳴子町の第三次産業比率は 68%
- ・広域大崎圏の平均値 53%を大きく上回っている
- ・鳴子町の産業が、観光を主体とする産業就業が特化している
- ・観光を主体とする産業の維持及び発展が鳴子町の産業振興にとって大きな課題



鳴子町の特産品
鳴子こけし / 鳴子漆器 / 栗だんご

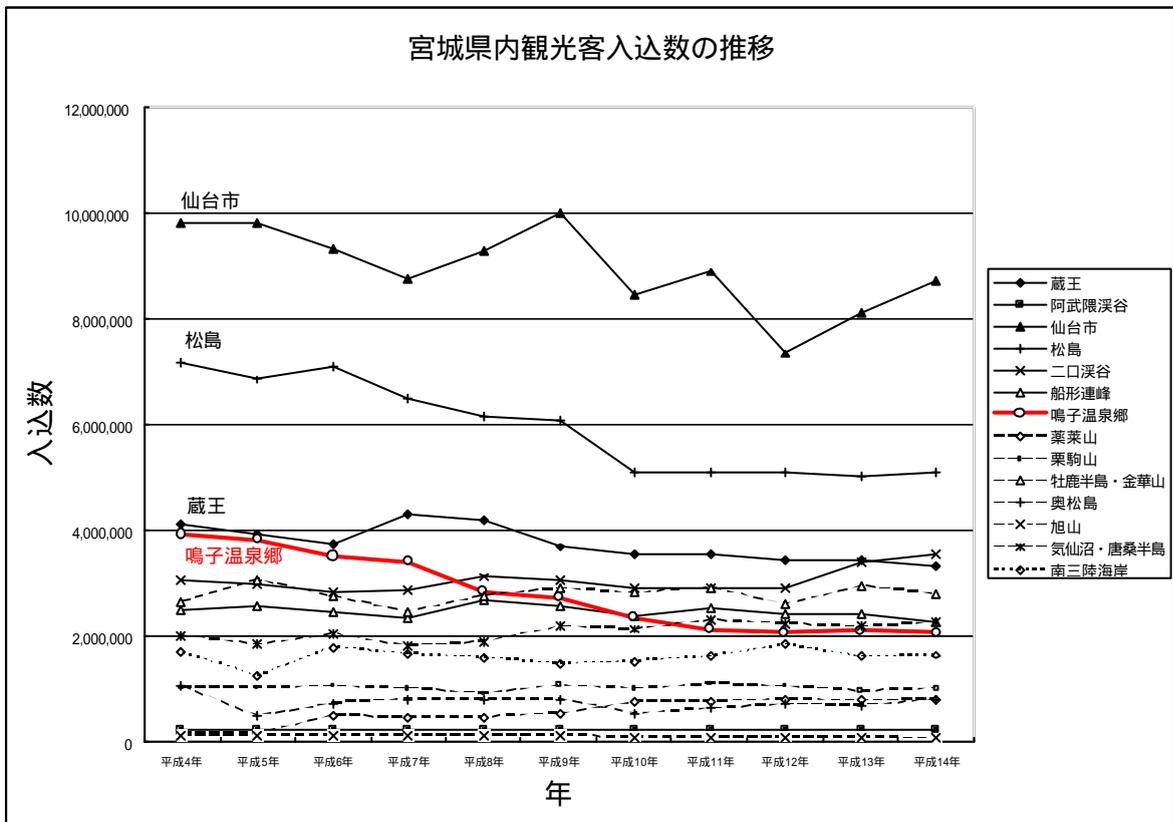
(4) 鳴子町及び宮城県内の観光の状況

1) 増加傾向の観光地

- ・阿武隈溪谷、二口溪谷、薬菜山、牡鹿半島・金華山、気仙沼・唐桑半島

2) 鳴子温泉郷の状況

- ・平成 14 年と平成 4 年の比で 52.4%と激減傾向
- ・観光資源の発掘
- ・積極的な PR 活動
- ・新たな観光動態 などに取り組んでいる





鬼首

ONQUEE

秋はスギ、冬は東海六ハンググライダーの穴が空しめあす。山ノ内トバノクから眺める花巻と磐梯の山と湖の眺大に鳥居は、一日中でも眺めることありまはん。頂上へ登るが難し、流石なところ、自然の力を借りたのがいいものです。

結核 奥の山
石炭の採掘の跡と

結核の山
江戸時代、鳴子は山田、宇治山田の歴史、開拓には奥の山頂、の百歩の山頂と名付られています。

鳴子温泉

鳴子は374カ所の源泉を誇る温泉郷 雄大な自然景観 東切部や松尾芭蕉の歴史 こけしと漆器 野鳥 プナの森に囲まれた ころやさしき故郷です!

鳴子温泉
鳴子温泉は、鳴子川に湧き出る天然の温泉です。源泉は374カ所あり、湯治場も数多くあります。また、温泉の歴史を伝える「鳴子温泉博物館」もおすすめです。

荒砥岳
カルデア

荒砥岳は、鳴子川に湧き出る天然の温泉です。源泉は374カ所あり、湯治場も数多くあります。また、温泉の歴史を伝える「鳴子温泉博物館」もおすすめです。

鳴子

MARIKO

鳴子町観光案内図

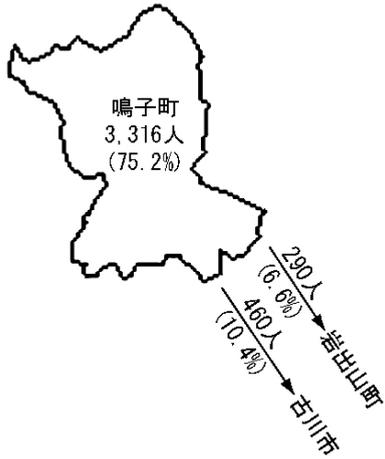
観光協会 0192-5611 鳴子町観光協会 111200

鳴子町のイベントカレンダー（2004年7月以降）	
1	料理講演会「鳴子町温泉文化研究会 一皿に盛る万人の努力」(1/13) 第1回温泉文化見学会(1/30)
2	「食と観光シンポジウム」(2/1) スローライフ週間 in 鳴子～2005 冬編～(2/19～26) 「鳴子町温泉療養プラザ」が「法政大学イノベーション・ポリシー賞」を受賞 第4回鳴子一店逸品「ほっとフェア」(2/26～3/6) 「第4回鳴子町スノーフェスティバル in オニコウベ」(2/27)
3	「かんじきで歩こう奥の細道」(3/6) 「第26回オニコウベカップGS大会」(3/6) ノルディックウォーク in 風の道(3/28)
4	第4回希望の森植樹祭(4/10) 鳴子ダム鯉の瀧のぼり(4/29～5/5) オニコウベスキー場「さよなら感謝デー」(3/20～4/2)
5	鳴子ダムすだれ放流(5/3～5) 「義経と芭蕉を偲ぶ、新緑の鳴子峡トレッキング」(5/8) 「伝統工芸の森をつくる支援隊」(5/8) 「わらじで歩こう奥の細道」(5/15) 農家レストラン「土風里」OPEN！宮城県内初「どぶろく」の製造免許を所得(5/15) 五葉ツツジトレッキングプラン(5/20～6/6) フィッシングジャンボリー in オニコウベ(5/29) やまが旬の市開催(5/29～11/7)
6	鳴子ツーリズム研究会設立セミナー(6/1) みやぎグリーン・ツーリズムシンポジウム&みやぎ食・味・技の体験交流会(6/7) 「鳴子温泉郷ツーリズム特区」が内閣府より正式に認定(6/21)
7	ブルーベリー摘み取り観光農園オープン(7/10～8/22) 奥の細道湯けむりラインSL運行(7/17～7/19) 2004 かぶとむしふれあいの森(7/17～8/29) 鳴子町町制50周年記念「鬼首神楽特別講演」(7/18) 鳴子牛カーニバル(7/25) 集まれ！鳴子ダム(7/31)
8	オニコウベ高原野菜作り体験(8/1) 「森と湖に親しむ講演会」&懐かしの映画「鉄血の魂」上映会(8/5) 東鳴子温泉「光の盆」(8/13～16) 鬼首 鬼楽里ふるさと体験A日程(8/21～22)
9	第50回全国こけし祭り(9/3～5) 第14回鳴子漆器展(9/3～5) 「吹上高原フェスタ'04」(9/11～12) 「鳴子音泉響～LIVE TOWN NARUKO～vol1.1」(9/17) 奥の細道湯けむりラインSL運行(9/18～9/20)
10	鳴子温泉郷の紅葉の見頃(10月上旬頃から) 第12回東北高等学校相撲選抜大会(10/3) 「トリムマラソン」(10/11) 第5回鳴子峡スケッチ大会(10/18) リゾートパークオニコウベ秋の味覚フェア(10/2～31)
11	「第4回 宮城県和太鼓」r.コンクール&r.フェスティバル」(11/6) 第2回全国グリーン・ツーリズムネットワークみやぎ鳴子大会(11/21～22)
12	SL「もがみ号」「義経号」フォトコンテスト入賞作品巡回写真展(12/17～1/17) 鳴子町内スキー場(上野ヶスキー場、オニコウベスキー場オープン(12/17)

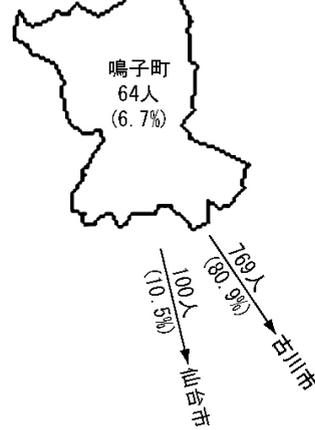
(5) 鳴子町と他市町とのつながり

各指標ともに古川市や近隣町である岩出山町とのつながりが強い。
隣県の山形県最上町とのつながりもみられる。

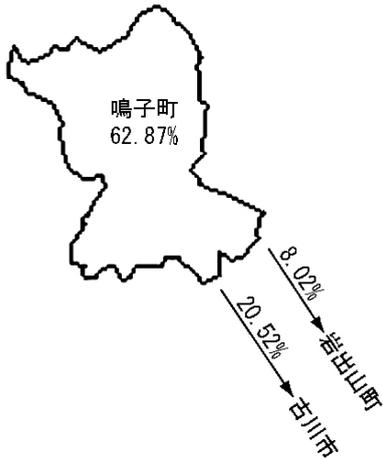
通勤 通学先



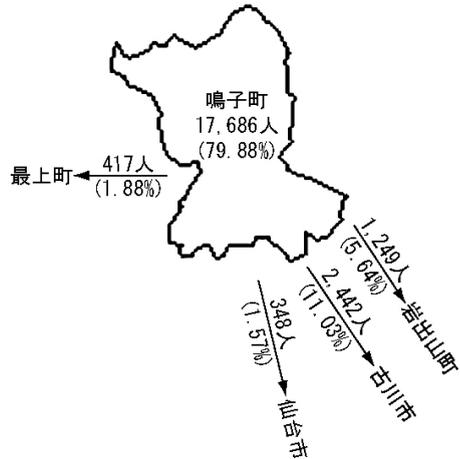
買回品購入先
(衣料品、文化品)



通院先



自動車のながれ

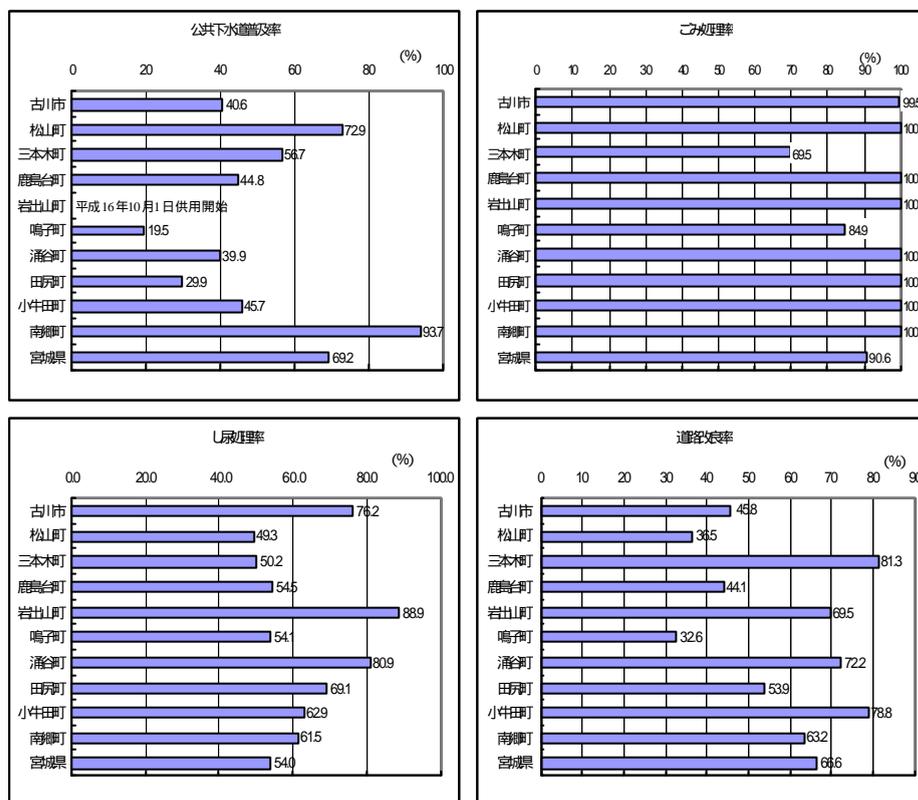


(6) 各種基盤整備の状況

鳴子町のインフラ整備状況は総じて低くなっている。

鳴子町の公共下水道の普及率は低い。

鳴子町の道路改良率も低位にあり、国道108号バイパス(湖西道路)等の整備が必要。



出典左) 国勢調査(平成12年)
 宮城県の商圈消費購買動向調査(平成15年)
 宮城県地域保健計画(平成13年)
 東北地方OD調査集計表:国土交通省(平成11年)

出典右) 宮城県市町村概要(平成15年度)
 公共下水道普及率の宮城県平均値は、平成15年版宮城県統計年鑑
 道路改良率の宮城県平均値は、平成15年度みやぎの道路

(7) 水源地域の特殊な地形

水源地域の地形は鬼首カルデラといわれ、荒雄岳（984m）を中央火口丘として

須金岳（1,253m）

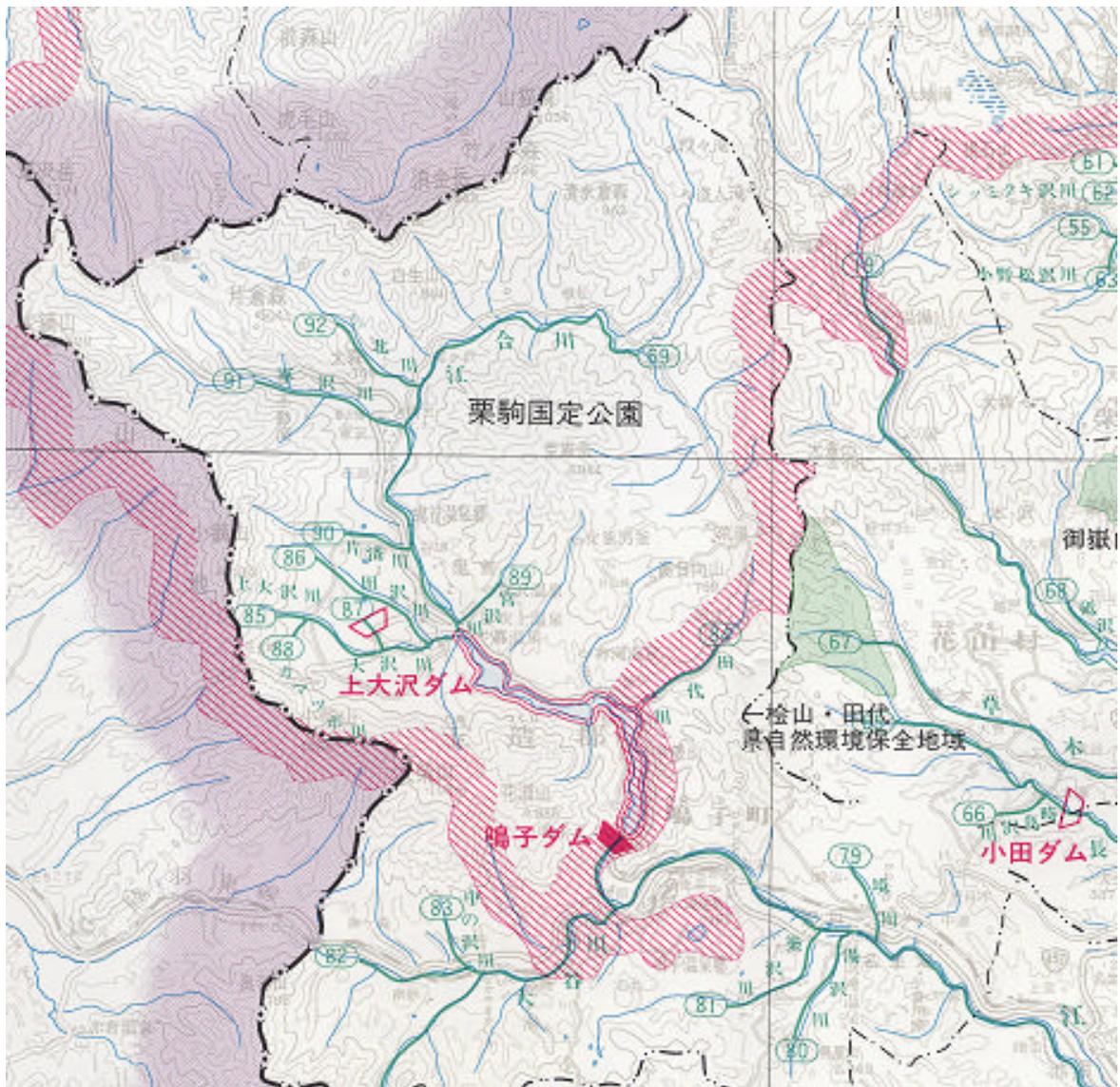
大鎗山（1,119m）

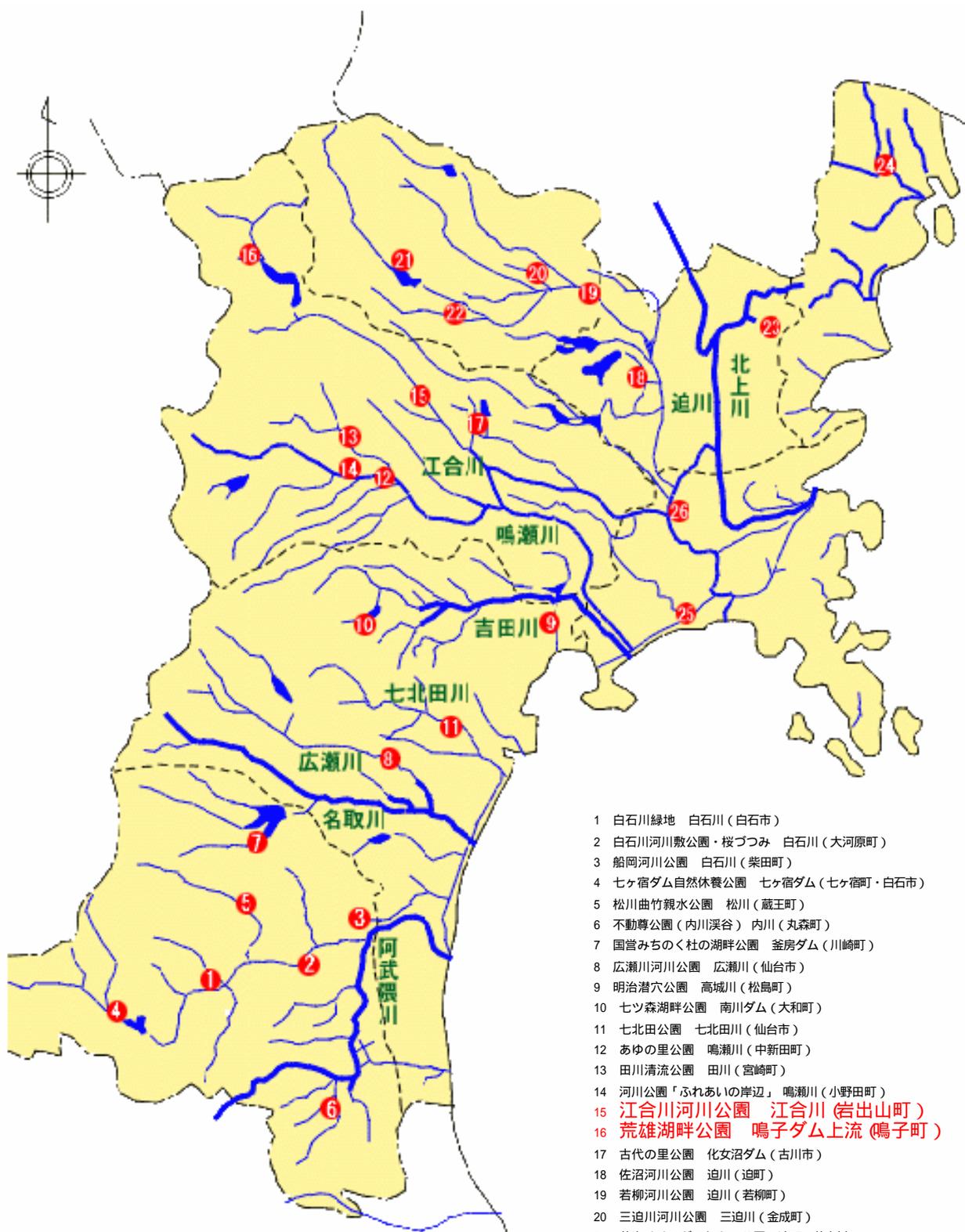
禿岳（1,261m）

大柴山（1,083m）

などを外輪山とし、火砕流堆積物から成っている。このカルデラ内には片山地熱地帯があり、火山活動の末期的現象が見られる。

江合川は、鬼首カルデラの中央火口丘である荒雄岳の東麓を水源とし、荒雄岳の周囲を逆時計回りに4分の3周した後、南流し、尿前（しとまえ）で大谷川を併せ、東流して大崎平野に入る。



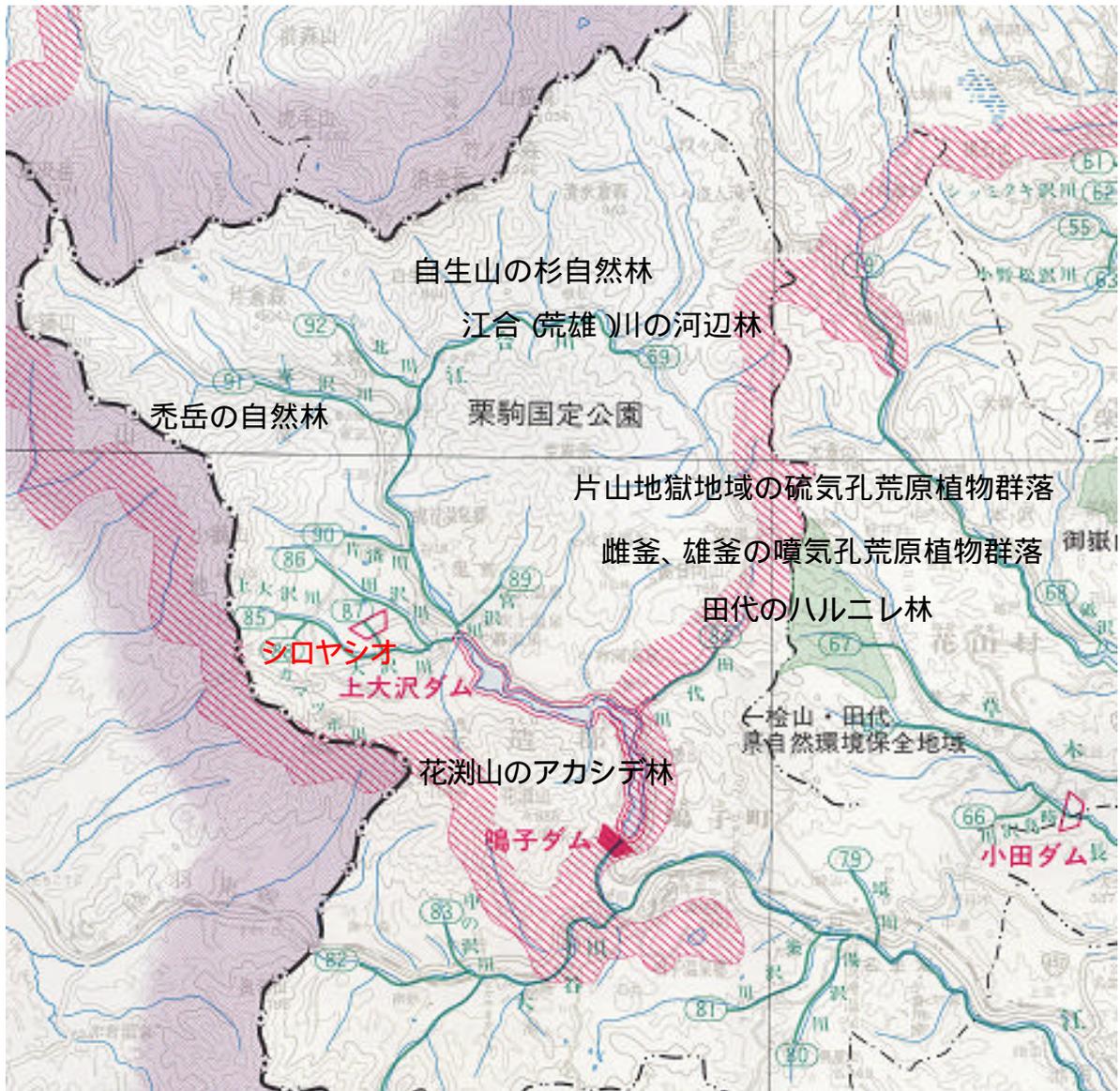


- 1 白石川緑地 白石川（白石市）
- 2 白石川河川敷公園・桜つつみ 白石川（大河原町）
- 3 船岡河川公園 白石川（柴田町）
- 4 セケ宿ダム自然休養公園 セケ宿ダム（セケ宿町・白石市）
- 5 松川曲竹親水公園 松川（蔵王町）
- 6 不動尊公園（内川溪谷） 内川（丸森町）
- 7 国営みちのく社の湖畔公園 釜房ダム（川崎町）
- 8 広瀬川河川公園 広瀬川（仙台市）
- 9 明治潜穴公園 高城川（松島町）
- 10 セツ森湖畔公園 南川ダム（大和町）
- 11 七北田公園 七北田川（仙台市）
- 12 あゆの里公園 鳴瀬川（中新田町）
- 13 田川清流公園 田川（宮崎町）
- 14 河川公園「ふれあいの岸边」 鳴瀬川（小野田町）
- 15 江合川河川公園 江合川（岩出山町）
- 16 荒雄湖畔公園 鳴子ダム上流（鳴子町）
- 17 古代の里公園 化女沼ダム（古川市）
- 18 佐沼河川公園 追川（追町）
- 19 若柳河川公園 追川（若柳町）
- 20 三迫河川公園 三迫川（金成町）
- 21 花山せせらぎふれあい公園 追町（花山村）
- 22 山王史跡公園 長崎川（一迫町）
- 23 大開河川公園 大開川（東和町）
- 24 大川せせらぎふれあい公園 大川（気仙沼市）
- 25 北北上運河河川公園 北北上運河（石巻市）
- 26 追波川河川運動公園 追波川（河北町）

(8) 水源地域の貴重な植物群落 (日本の貴重な植物群落 : 環境省)

水源地域には「自生山の杉自然林」「禿岳の自然林」「花淵山のアカシデ林」などをはじめ、優れた自然環境の資源がある。

鳴子ダムの右岸は、母岩が露出する高さ 300m~400m の急峻な斜面になっている。この斜面はアカシデを主とし、コナラ、ケヤキが混生する林に覆われている。



水源地域の貴重な植物群落



田代川のハルニレ林



自生山の杉自然林



冬の禿岳



大柴山のシロヤシオ



禿岳山麓の町営牧場



地獄谷付近の遊歩道



ヤマツツジ

ツツジ科。日当たりのよい山野に普通な半落葉低木。高さは1～3m。5～6月頃、枝先に赤色の花をつける。花冠は径3～4cm。



カタクリ

ユリ科。早春、木の葉が広がる前、紅紫色の花を咲かせる。高さは15cm位。花の径は4～5cm。花被片を反り返らせて咲く。



ニリンソウ

キンボウゲ科。高さ15cm位、群がって生えることが多いが単独で生えることもある。春、花柄を2本出し、径1.5～2.5cmの白い花をつける。花びらに見えるがくは5枚。



キクザキイチゲ

キンボウゲ科。和名は花が菊に似ることによるため、菊咲一花草。春、落葉広葉樹の林の下に咲く。直径約3cmの淡紫色～白色の花を1つつける。



ヤマユリ

ユリ科。草地や林縁に普通。高さ1～1.5m。花の径は20～25cm。夏、大きな白い花は、法面や疎開した森林でとくに目立つ。



タニウツギ

スイカズラ科。日当たりのよい山野に普通な落葉低木。おもに日本海側に分布する。高さは2～5m。花は初夏、淡紅色。



ウワミズザクラ

バラ科。山野に普通な落葉高木。高さは15m位。花は5月頃、葉が出てから総状花序に咲く。花弁は白色。果実は秋に黒く熟す。



マルバマンサク

マンサク科。山地に生息する落葉小高木。おもに日本海側に分布する。早春、葉に先だてて咲く。花びらが黄色で線形。

エゾタンポポ



キク科。日本在来のタンポポのひとつ。都市化に弱く、昔ながらの環境が残っているところに見られる。総苞片が反り返らない。



ヤマボウシ

ミズキ科。山野に普通な落葉小高木。高さは5～10m。花は初夏、白い4枚の総苞片が花弁のように見える。

鳴子ダム周辺の貴重な植物



ウソ

アトリ科。全長約 15.5cm。くちばしは、短く太い。雄は頭頂が黒くほおからのどにかけて鮮やかな紅色をしている。亜高山帯で繁殖し、冬には里に下りてくる。



アオサギ

サギ科。全長約 95cm。日本のサギ類で最も大型。川、湖・沼、水田、湿地など水辺に見られる。全体が灰色。動きはゆっくりしている。



アカゲラ

キツキ科。全長約 24cm。頭部と背中全体が黒い。雄は後頭部が赤色。各地の山林に普通に棲息。おもに樹上で昆虫を採食。



オシドリ

カモ科。全長約 45cm。雄はだいたい色の美しい羽毛をもつ中型のカモ。雌は灰褐色で地味。おもに山間の水辺の木陰を好む。



カワガラス

カワガラス科。全長約 22cm。全身チョコレート色。山間の溪流に棲息。川沿いに直線的に飛ぶ。水に潜って水生昆虫を食べる。



カワセミ

カワセミ科。全長約 17cm。長い嘴、コバルト色の上面、橙色の下面が特徴。採餌行動はヤマセミに似るが、水生昆虫なども食べる。



コゲラ

キツキ科。全長約 15cm。上面は黒褐色で背と翼に白色の斑点がある。キツキの仲間中最も小さい。冬にカラ類と一緒に移動しているのが見られる。



ヤマセミ

カワセミ科。全長約 38cm。白黒の斑模様の特徴。おもに山間の溪流や湖沼に棲息。魚食性。急角度で水中に飛び込み魚を捕まえる。



マガモ

カモ科。全長約 59cm。宮城県ではよく見られオナガガモに次いで数が多い。雄はくちばしが黄色で頭部は光沢のある緑色。雌のくちばしは赤褐色で黒い斑点がある。



ヤマガラ

シジュウカラ科。全長約 14.5cm。頭部は黒く、額とほお、後頭部に淡黄色がある。冬には、平地の林で、他のカラ類と群をつくり一緒に行動、採餌する。

鳴子ダム周辺の貴重な動物

4 . 鳴子町の近年のトピック

(1) 構造改革特区「鳴子温泉郷ツーリズム特区」内閣府が認定 (平成 16 年 6 月 21 日)

1) 農地所有者による市民農園の開設

町と協定を結ぶだけで、農家自らが市民農園を実施することができます。

2) 農地取得下限面積の引き下げ

一般の方が農業を始めるには、農地法のしほりにより 5 0 a 以上でないと農地を取得できないこととなっていますが、その面積要件が 10a まで引き下がります。一般の方が 10a から農地を取得し、農家になることが可能となります。

3) 特定農業者による濁酒の製造許可者の製造数量緩和

農家レストラン等飲食店営業を併せ営む稲作農家、自ら生産した米を原料に濁酒(どぶろく)製造の免許を取得する際、製造数量に制限がなくなります。



(2) 第2回全国グリーン・ツーリズムネットワーク みやぎ鳴子大会

(平成16年11月21日~22日)

分科会、交流会、全体パネルディスカッションの開催(全国から600人参加)

第1分科会 食文化 ~火を遊ぶ~ 民族研究家 結城登美雄氏

第2分科会 連携 ~火をつなぐ~ 宮城大学事業構想学部助教授 宮原育子氏

第3分科会 コミュニティの再生 ~火を育む~

まちむら交流きこう「びれっじ」編集長永田麻美氏

第4分科会 行政支援 ~火を灯す~ 遠野市総合産業振興センター所長 菊池新一氏

第5分科会 デザイン ~火を魅せる~

プランナー 麦屋弥生氏

第6分科会 ツーリズムの質の向上 ~火を守る~

NPO 法人遠野山・里・暮らしネットワーク

事務局長 徳吉英一郎氏

第7分科会 とことん鳴子 ~火を活かす~

(株)東北地域研究室代表 志賀秀一氏

「あだちん」とは?
宮城県では表参権に
対して「あだちん」とい
ますが本にはあだちんとい
ふのはあだちんといふ
動物の表現として
使われます。

旅は他火

みやぎ鳴子大会

第2回全国グリーン・ツーリズムネットワーク

主催/第2回全国グリーン・ツーリズムネットワークみやぎ鳴子大会実行委員会
宮城県・鳴子町

参加者募集中!

●会場/宮城県鳴子町
●開催日/平成16年11月21日(日)~22日(月)
<http://www.town.naruko.miyagi.jp/tourism/gtnetwork/>

(3) スローライフ週間 in 鳴子 2005 冬期 (平成 17 年 2 月 19 日 ~ 26 日)

- 2 月 19 日 (土) 森の生活 冬編
- 2 月 20 日 (日) ワークショップ「鬼首神楽」に学ぶ伝承文化
炭出し体験 ~炭アート
漆器で食す手打ち蕎麦
- 2 月 21 日 (月) 山の暮らしと木地文化
- 2 月 22 日 (火) 地球の底力「温泉熱」体験ツアー + 熱帯 Café
- 2 月 23 日 (水) スロージズビューティフル
鳴子ツーリズム推進セミナー
- 2 月 24 日 (木) 農家レストランプレオープン
囲炉裏を囲んで民話を聞く会
- 2 月 25 日 (金) 牧場で馬と会いスキーで歩く鳴子上原
- 2 月 26 日 (土) 冬の森をかんじきで歩く

スローライフ週間 in 鳴子 2005 冬期

湯くりに湯ったり湯たかに

期間 / 2005 年 2 月 19 日 (土) ~ 26 日 (土)

<p>20 日 (土)</p> <p>ワークショップ 「鬼首神楽」に学ぶ 伝承文化</p> <p>※時間 19:00~21:00 ※会場 湯田入道・山荘「湯田入道」 ※参加費 500 円 ※お問い合わせ / 湯田神楽保存会</p>	<p>23 日 (水)</p> <p>稲佐五郎村・稲佐村誌 鳴子ツーリズム推進セミナー 「スロージズってなに?」</p> <p>※時間 10:30~16:00 (16:00 閉場) ※会場 鳴子町 中央公民館 ※参加費 / 無料 ※お問い合わせ / 鳴子ツーリズム推進委員会 電話 / 090-2977-9086</p>	<p>24 日 (木)</p> <p>囲炉裏を囲んで 民話を聞く会</p> <p>※時間 19:00~21:00 ※会場 湯田入道・山荘「湯田入道」 ※参加費 / 500 円 ※お問い合わせ / 湯田神楽保存会 電話 / 090-2977-9086</p>	
<p>2月19日 (土)</p> <p>森の生活 冬編 一足踏みで冬を三足一歩 【炭出し体験】</p> <p>※時間 10:00~13:00 ※会場 湯田入道・山荘「湯田入道」 ※参加費 / 2,000 円 ※お問い合わせ / 湯田神楽保存会 電話 / 090-2977-9086</p>	<p>2月21日 (月)</p> <p>山の暮らしと木地文化</p> <p>※時間 10:00~12:00 ※会場 湯田入道・山荘「湯田入道」 ※参加費 / 無料 ※お問い合わせ / 湯田神楽保存会 電話 / 090-2977-9086</p>	<p>2月24日 (木)</p> <p>農家レストランプレオープン 「スロージズ」を体験しよう</p> <p>※時間 12:00~13:00 ※会場 湯田入道・山荘「湯田入道」 ※参加費 / 1,000 円 ※お問い合わせ / 湯田神楽保存会 電話 / 090-2977-9086</p>	<p>2月26日 (土)</p> <p>冬の森をかんじきで歩く</p> <p>※時間 10:00~11:00 ※会場 湯田入道・山荘「湯田入道」 ※参加費 / 500 円 ※お問い合わせ / 湯田神楽保存会 電話 / 090-2977-9086</p>

主催 / 鳴子ツーリズム研究会
後援 / 宮城県、鳴子町、鳴子町教育委員会、鳴子町観光協会、鳴子町商工会、鳴子町物産協会、J A いわてやま、大蔵森林組合、東北大学大学院農学研究所附属総合生体フィールド教育研究センター、鳴子未来創造協議会、鳴子温泉文化研究会、鳴子温泉マッコウクラブ、新井社工房、東北福祉大学、東プロジェクト地域活性化
[お問合せ] 鳴子ツーリズム研究会 スローライフ週間担当 ☎090-2977-9086

(4) 法政大学のイノベティブ・ポリシー賞を受賞

(鳴子町観光協会(平成17年2月25日))

鳴子町観光協会と鳴子町立病院が協力して、温泉の原点である「湯で治す力」とう伝統的な町にある湯治文化に着目し、現代医療と湯治をミックスした現代版湯治で町の活性化を目指したことが注目された。

鳴子町温泉病院に温泉療養相談所を設置して「温泉療養プラン」を作成し、それを温泉宿(700軒のうち20軒が参加)がプランの実現のために協力する仕組みとなっている。

また、行政と地域の人たちが一緒に自然環境を活かした「天然のリハビリテーション施設」として散策コースをつくったり、鳴子の自然に溶け込む人の暮らしを体験してもらうことにも工夫を凝らしている。

地域で「心の湯治(やすらぎ、いやし)」ができるように「おもてなし」を考えて、地域の再生に結びつけている。

《イノベティブ・ポリシー賞》 3篇の概要	
特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会	「高齢路上生活者の自立支援に関する一連の活動」
宮城県・鳴子町観光協会	「鳴子町温泉療養プラン」
熊本県小国町・財団法人学びやの里	「悠木の里づくりと九州ツーリズム大学」

(5) 電源地域振興指導事業 (鳴子町鬼首地区) 経済産業局 (平成 17 年 6 月 22 日)

鬼首地域は大手民間資本のリゾート開発を柱に一定の成果を上げてきたが、近年のリゾート需要の減少や地域農林業の弱体化などにより地域産業全体の活力低下への対策が課題となっている。本事業では鬼首地域が本来持っている魅力を再評価し、新たな地域振興策を検討するとともに、既存の観光産業との連携について調査・検討を行う。

炭焼きや、キノコ栽培体験が始まり、夏からは開拓体験もはじまった。

(6) 政府の緑化推進会議が「鳴子町」を表彰 (平成 17 年 7 月 26 日)

(平成 17 年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞)

鳴子町は、面積の 86% が森林。河川源流部で水源地としての責任を果たすため、保安林の指定や改良に努めてきた。

昭和 54 年 水資源功労者表彰

平成 6 年 町制施行 40 周年の記念事業で町民や中学生がオオヤマザクラなどの植林事業

平成 8 年 水源地帯の屏風岩や禿高原にブナやトチなどの広葉樹の不伐の森「水の森」の植林事業

平成 16 年 地球温暖化防止のため、ミズキやクリなどの育つ森「伝統工芸の森」の植林事業

これらの活動で植えられた木は、町民と中学生の活動で 5 千本、伝統工芸の森は 13 百本にも及んでいる。「水の森」と「伝統工芸の森」では雑草の刈り取りもボランティアで行われている。

鳴子町を表彰

政府の緑化推進会議

政府の緑化推進会議が、植林活動に取組んでいる団体の功労をたたえ、うと内閣総理大臣が表彰する顕彰の今年度分対象のひとつに、鳴子町が選ばれ、このほど表彰が首相官邸で行われた。

国土環境の保全と水質の改善、生活環境の改善に必要な森づくりが、鳴子町は、個人をたえようと昭和五十九年から表彰、今年度は個人、民間および地方公共団体、学校など、二十四を満した。

鳴子町は、面積の八六%が森林を占め、河川源流部で、水源地としての責任を果たすため、保安林の指定や改良に努めて

和五十四年に水資源功労者表彰を受けた、町制施行四十周年の平成六年からは記念事業として町民一般や中学生がオオヤマザクラなどを植える植林事業、水を主役にする環境保護の声の高まりとともに八年から、水源地帯の屏風岩や禿高原にブナやトチなど広葉樹の不伐の森「水の森」を育てるための植林、昨年から地球温暖化防止のため、ミズキやクリなどの育つ森「伝統工芸の森」をつくる植林を展開。

これらの活動で植えられた木は、町民と中学生の活動で五千本、水の森は一万八千本、伝統工芸の森は千三百本を達成。

水の森と伝統工芸の森は、植林だけでなく、生長を阻害する雑草の刈り取りもボランティアの手で行われている。

内閣総理大臣表彰、こうした活動への取り組みが評価された。

写真・ボランティアによる伝統工芸の森への植林作業

水源地の森林育成と評価

5. 鳴子町内での地域活動

(1) 地域活動の概要

まちおこし活動	主催	開催時期	概要
鬼首神楽特別公演	鬼首神楽保存会	7/18	源氏と平家の「一ノ谷合戦」をテーマに、3時間半の上演会
やまが旬の市	鬼首農林産物直売所「やまが旬の市」	5/29～ 11/7 毎週土日	地場産の野菜や加工品販売
鬼楽里ふるさと体験	鬼首農地開発農業振興組合	年3回程度	8/21：とうもろこしもぎ取りハフハフ体験&山里の暮らし体験 9/16：りんどう切り花体験&山里の暮らし体験
中山平日曜山村学校	日曜山村学校	4月～11月 毎月2回	無農薬による米づくり、野菜づくり体験
ブルーベリー摘み取り農園	鳴子町ブルーベリー生産加工組合	7/10～ 8/22 9:00～ 16:00	鳴子町内8ヶ所のブルーベリー園にての摘み取り体験、ジャムづくり体験
キャッチ&リリース	鳴子漁業協同組合	解禁日内	江合（荒雄）川本流のキャッチ&リリース区間におけるイワナ、ヤマメ、ニジマス釣り
鳴子温泉郷湯めぐり手形	町内5地区の温泉組合	通年	東鳴子、鳴子、川渡、鬼首、中山平の5温泉における割引手形
街を歩けば下駄も鳴子	街を歩けば下駄も鳴子実行委員会	通年	カラコロまっぴ協賛店における各種サービス
てっぺクラブのほっとフェア	鳴子温泉てっぺクラブ	年1回	鳴子町温泉街（商店街）における一店逸品運動フェア
東鳴子温泉現代版湯治入門	東鳴子夢会議	通年	各種ワークショップの開催
温泉療養プラン	鳴子町観光協会温泉療養部	通年	各種生活習慣病の症状にあった適切な温泉療養やり八ピリ指導
鳴子ツーリズム研究会		通年	鳴子ツーリズム講座（講演会）の開催
「構造改革特区」の認定		6/21	農地所有者による市民農園の開設 農地取得下限面積の引き下げ 特定農業者による濁酒の製造許可者の製造数量緩和



鬼首神楽特別講



鬼楽里 ふるさと体験



鬼楽里 ふるさと体験



日曜山村学校



日曜山村学校



ブルーベリー摘み



キャッチ&リリース



燕鳴子温泉

川崎温泉

鳴子温泉

飛首温泉

湯めぐり手形

中山平温泉



下駄も鳴子



でっぺクラブ



現代版湯治入門
(緑台ロークショップ)



S 緑谷



温泉療養プラン

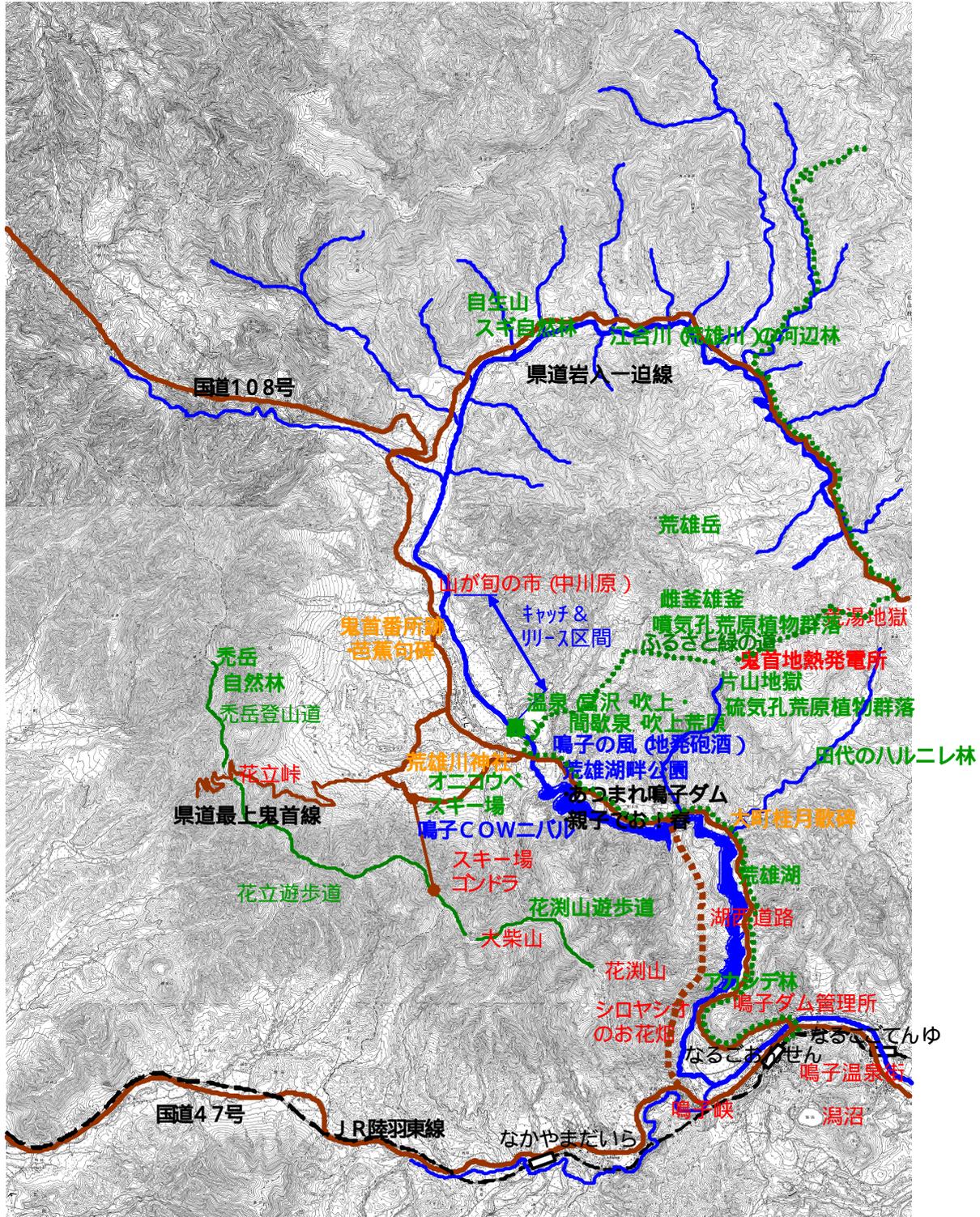


やまが司の市



現代版湯治入門
(光の盆)

(2) 鳴子町内の資源のとりまとめ



自然系資源

自生山及び天然杉・巨木の森
花淵山及び遊歩道・お花畑（シロヤシオなど）
荒雄岳（コニトロイデ火山）及び外輪地形
鬼首地熱発電所、片山地獄及び周辺の特異植生
間歇泉 吹上高原
温泉（宮沢 吹上 轟）
オニコウベスキー場・ゴンドラ・ゴルフ場
荒雄湖（ダム湖）
ふるさと緑の道（鳴子温泉～荒雄湖～鬼首）
ふるさと緑の道（鬼首～荒湯地獄～鎌内）
貴重な植物群落
・花淵山のアカシデ林（鳴子ダムサイト下右岸）
・自生山のスギ自然林
・江合川（荒雄川）の河辺林
・田代のハルニレ林
・片山地獄地域の硫気孔荒原植物群落
・雌釜、雄釜の噴気孔荒原植物群落
・禿岳の自然林

人文系資源

荒雄川神社 主馬神社
鬼首番所跡 芭蕉句碑 大町桂月歌碑

社会系資源

荒雄湖畔公園
あつまれ鳴子ダム 親子でお！春
鳴子牛COWニバル
鳴子の風（地発泡酒）

ビューポイント

鳴子ダム及び展望台
花立峠
禿高原町営牧場
県道岩入一迫線、田代川沿いの景観

地域での活動

鬼首の里高原市場
農業体験「鬼首・鬼楽里」
鳴子未来創造会議
江合川（荒雄川）の水質調査
キャッチアンドリリース区間の設定・発眼卵放流
下流ライオンズクラブとの交流

地域の食

鬼首の湧水
鳴子の風（地発泡酒）
岩魚・山女など

地域の交通

JR陸羽東線
（鳴子温泉駅、鳴子御殿湯駅）
国道108号、県道最上鬼首線、吹上
鬼首線、岩入一迫線、沼倉鳴子線
鳴子町営バス